

公 示

下記の要領で第23回通常総会を開催いたします。

正会員には、委任状のハガキを同封しております。当日欠席の場合は、委任状にご記入の上、記名捺印して6月13日（水）までに、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 2007年6月16日（土）12:00～13:00

2. 会 場 東京工業大学 西9号館 ディジタル多目的ホール（東京都目黒区大岡山2-12-1）

3. 議 事

- 1) 第1号議案 2006年度(2006.4.1-2007.3.31)事業報告および収支決算承認の件
- 2) 第2号議案 2007年度(2007.4.1-2008.3.31)事業計画案および収支予算案承認の件
- 3) 第3号議案 会長、理事、監事、評議員の選任の件

2007年5月12日
日本教育工学会 会長 赤堀侃司

本号目次

第23回通常総会の公示	1	第3号議案（会長、理事、監事、評議員の選任）	6
第1号議案（2006年度事業報告および収支決算）	2	2007年度6月シンポジウム開催のご案内（最終報）	7
第2号議案 (2007年度事業計画案および収支予算案)	4	2007年夏の合宿研究会のお知らせ(第二報)	7
		新入会員／学会日誌等	8

1) 第1号議案 2006年度事業報告および収支決算

2006年度に実施した事業は次のとおりである。(事業費 15,183,179円)

(1) 機関誌等 (8,698,770円)

1. 「日本教育工学会論文誌」第30巻1号～4号、増刊号(ショートレターハイ)、および英文誌第29巻1・2号(合併号)を会員に配付した。(7,423,367円)
2. 「ニュースレター」No.143～No.149を刊行し、会員に配付した。(1,275,403円)

(2) 総会

日本教育工学会第22回通常総会を、東京工業大学で開催(2006/6/17)した。

(3) 大会

日本教育工学会第22回全国大会を、関西大学で開催(2006/11/3-5)した。
また、「第22回全国大会講演論文集」を刊行し、申込者に配布した。

(4) 研究会の開催 (2,602,879円)

次の研究会を開催し、「日本教育工学会研究報告集」JSET06-3～JSET06-6、JSET07-1を申込者に配布した。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| ①「子どもとメディア」研究会 | (2006/5/27 : 奈良教育大学) |
| ②「サイエンスコミュニケーションと教育工学」研究会 | (2006/7/8 : 日本科学未来館) |
| ③「授業改善に活かす教育工学」研究会 | (2006/9/2 : 三重大学) |
| ④「コミュニケーションを重視した教育実践と情報モラル教育」研究会 | (2006/12/16 : 長崎大学) |
| ⑤「授業実践とメディア活用」研究会 | (2007/3/3 : 園田学園女子大学) |

(5) 企画委員会 (402,461円)

次のシンポジウムおよび研修講座(合宿研究会)を開催した。

- シンポジウム (2006/6/17 : 東京工業大学)
午前 : テーマ : 「ICTの教育利用と学力向上」
午後 : テーマ : 「2007年以降の教員大量退職に伴う教育現場の諸問題
～若手教員の授業力向上戦略を探る～」
- 研修講座
 - 第53回研修講座 夏の合宿研究会 (2006/8/26-27 : 北海道新冠町 レ・コード館)
テーマ : ICTでつなぐ、学校、家庭、地域社会
 - 第54回研修講座 冬の合宿研究会 (2007/1/6-7 : 鳴門教育大学地域連携センター)
テーマ : 学力向上とICT活用との関連を実証的に考える
 - 第55回研修講座 産学協同セミナー (2007/3/3 : 東京ファンクションタウンビル)
テーマ : 教育システム開発・コンテンツ開発 アイディアマーケット

- 特別研修講座 日本質的心理学会研究交流委員会と企画委員会との共催セミナー
(2007/2/24 : 金城学院大学)
テーマ : 質的研究法は教育研究をどう変えるか

(6) 学会情報の提供 (628,780円)

学会ホームページによって、学会情報を提供した。

(7) 国際連携の推進 (0円)

日中教育工学研究推進フォーラムについて中国側と検討し、平成19年度に開催することを計画した。

(8) 学会の情報化対応システムの開発 (2,130,975円)

クレジットカード支払い機能などを開発し、会員へのサービス向上を図った。

(9) 2006年度年度末(2007/3/31)会員総数 : 2,399名

内訳 : 正会員 1,894名、准会員 192名、学生会員 279名、名誉会員 2名、維持会員 27社、
特殊会員 5団体

2006 年度 収支決算 (自 2006. 4. 1~至 2007. 3. 31)

1. 収入の部

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
1. 会費 (①~⑥の合計)	18,524,000	17,545,000	979,000
①正会員会費	14,193,000	13,500,000	693,000
②准会員会費	627,000	440,000	187,000
③学生会員会費	1,540,000	1,485,000	55,000
④維持会員会費	1,400,000	1,100,000	300,000
⑤特殊会員会費	50,000	20,000	30,000
⑥過年度分	714,000	1,000,000	△ 286,000
2. 入会金	307,000	300,000	7,000
3. 事業収入 (①~④の合計)	9,381,643	9,000,000	381,643
①論文別刷代	5,378,500	3,500,000	1,878,500
②学会誌販売	1,274,586	1,500,000	△ 225,414
③研究会収入	2,728,557	3,000,000	△ 271,443
④全国大会収支差	0	1,000,000	△ 1,000,000
4. 雑収入	124,527	200,000	△ 75,473
5. 事典販売	527,000	800,000	△ 273,000
6. 積立金取り崩し	0	0	0
7. 前年度からの繰越	646,481	646,481	0
収 入 合 計	29,510,651	28,491,481	1,019,170

2. 支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	差 額
1. 管理費 (①~⑧の合計)	10,846,609	11,750,000	△ 903,391
①役員等会議費	117,114	300,000	△ 182,886
②事務局費	725,013	1,000,000	△ 274,987
③旅費交通費	1,752,800	2,000,000	△ 247,200
④通信運搬費	3,794,737	3,500,000	294,737
⑤消耗品費	739,304	700,000	39,304
⑥複写経費	105,447	300,000	△ 194,553
⑦諸謝金	3,408,890	3,700,000	△ 291,110
⑧雑費	203,304	250,000	△ 46,696
2. 事業費 (①~⑦の合計)	15,183,179	16,400,000	△ 1,216,821
①機関紙等	8,698,770	11,300,000	△ 2,601,230
a. 論文誌	7,423,367	9,500,000	△ 2,076,633
b. ニューズレター	1,275,403	1,800,000	△ 524,597
②ホームページ管理費	628,780	700,000	△ 71,220
③研究会	2,602,879	1,800,000	802,879
④企画委員会	402,461	800,000	△ 397,539
⑤全国大会収支差	719,314	0	719,314
⑥国際連携の促進	0	300,000	△ 300,000
⑦情報化対応システム開発	2,130,975	1,500,000	630,975
3. 予備費	0	341,481	△ 341,481
4. 事典関係経費	622,950	800,000	△ 177,050
5. 積立金 (学会改革)	0	0	0
6. 次年度繰越金	2,857,913	0	2,857,913
支 出 合 計	29,510,651	28,491,481	1,019,170

(注) 2007 年度以降の前納金額 年会費 : 5,687,760 円、研究報告集代 : 794,500 円

2) 第2号議案 2007年度事業計画案および収支予算案

2007年度に実施する事業計画は次のとおりである。(事業費 13,800,000円)

(1) 機関誌等 (10,500,000円)

1. 「日本教育工学会論文誌」第31巻1号～4号, 増刊号(ショートレターハイ), および英文誌第30巻1・2号(合併号)を会員に配付する。(9,000,000円)
2. 「ニュースレター」No.150～No.156を刊行し, 会員に配付する。(1,500,000円)

(2) 総会

日本教育工学会第23回通常総会を, 東京工業大学で開催(2007/6/16)する。

(3) 大会

日本教育工学会第23回全国大会を, 早稲田大学で開催(2007/9/22-24)する。

また, 「大会講演論文集」を刊行し, 申込者に配布する。

(4) 研究会委員会

研究会を年5回開催し, 「日本教育工学会研究報告集」JSET07-2～JSET07-5, JSET08-1を申込者に配布する。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ①「地域教育力と情報教育」研究会 | (2007/5/19: 北星学園大学) |
| ②「教育とメディア/一般」研究会 | (2007/7/7: 新潟医療福祉大学) |
| ③「デジタルコンテンツの教育活用と授業デザイン/一般」研究会 | (2007/10/20: 同志社女子大学) |
| ④「高等教育とeラーニング/一般」研究会 | (2007/12/22: 熊本大学) |
| ⑤「日本語教育と教育工学/一般」研究会 | (2008/3/1: 名古屋大学) |

(5) 企画委員会 (800,000円)

企画委員会を開催し, 次のシンポジウムおよび研修講座(合宿研究会)を開催する。

- | | |
|--|--------------------------|
| a) シンポジウム (2007/6/16: 東京工業大学) | |
| 午前: テーマ: 「高等教育における教育実践の成果をどのように共有し活用するか」 | |
| 午後: テーマ: 「新しい教育課題に教育工学は何ができるか～現代的問題に挑む～」 | |
| b) 研修講座 | |
| ① 第56回研修講座 夏の合宿研究会 | (2007/7/28-29: 富山大学黒田講堂) |
| テーマ: 「次世代の教室のICT環境と学力向上を考える」 | |
| ② 第57回研修講座 秋の産学協同セミナー | (期日未定) |
| ③ 第58回研修講座 冬の合宿研究会 | (期日未定) |

(6) 学会ホームページの更新 (700,000円)

会員だけでなく一般の人に学会情報を提供するために, 学会のホームページを常時更新する。

(7) 国際連携の促進 (500,000円)

海外の学協会との連携を促進する。

- 第2回日中教育工学研究推進フォーラム開催(2007/6/19-20:関西大学)
- 韓国教育工学会招聘(2007/9/24:早稲田大学)

(8) 学会の情報化対応システムの開発 (1,500,000円)

学会の会計処理システムなどの開発をおこない, 会員へのサービス向上を図る。

2007 年度 収支予算案 (自 2007. 4. 1~至 2008. 3. 31)

1. 収入の部

科 目	前年度決算	予 算 額	備 考
1. 会費 (①~⑥の合計)	18,524,000	18,035,000	
①正会員会費	14,193,000	13,950,000	9,000円×1550名
②准会員会費	627,000	550,000	5,500円× 100名
③学生会員会費	1,540,000	1,485,000	5,500円× 270名
④維持会員会費	1,400,000	1,250,000	50,000円× 25口
⑤特殊会員会費	50,000	0	種別廃止
⑥過年度分	714,000	800,000	
2. 入会金	307,000	300,000	1,000円× 300名
3. 事業収入 (①~④の合計)	9,381,643	5,600,000	
①論文別刷代	5,378,500	4,000,000	論文誌、英文誌
②論文誌等販売	1,274,586	1,300,000	委託販売を含む
③研究会収入 (差)	2,728,557	300,000	年5回開催 (別会計)
④全国大会収支差	0	0	第23回大会
4. 雑収入	124,527	200,000	資料販売、利息等
5. 事典販売	527,000	0	事典販売、送料等 (別会計)
6. 積立金取り崩し	0	0	
7. 前年度からの繰越	646,481	2,857,913	
収 入 合 計	29,510,651	26,992,913	

2. 支出の部

科 目	前年度決算	予 算 額	備 考
1. 管理費 (①~⑧の合計)	10,903,709	11,550,000	
①役員等会議費	117,114	300,000	理事会等開催費
②事務局費	725,013	1,000,000	事務局経費等
③旅費交通費	1,809,900	2,000,000	理事交通費等
④通信運搬費	3,794,737	3,500,000	発送費、連絡費等
⑤消耗品費	739,304	700,000	文房具、封筒印刷等
⑥複写経費	105,447	300,000	事務局コピー等
⑦諸謝金	3,408,890	3,500,000	学会事務処理等
⑧雑費	203,304	250,000	送金手数料、その他
2. 事業費 (①~⑦の合計)	15,183,179	14,000,000	
①機関紙等	8,698,770	10,500,000	
a. 論文誌	7,423,367	9,000,000	論文誌5回/英文誌1回
b. ニューズレター	1,275,403	1,500,000	年7回
②ホームページ管理費	628,780	700,000	更新作業等
③研究会 (収支差)	2,602,879	0	研究会年5回開催
④企画委員会	402,461	800,000	シンポ、合宿研究会、委員会費等
⑤全国大会収支差	719,314	0	第23回大会
⑥国際連携の促進	0	500,000	海外の学協会との連携
⑦情報化対応システム開発	2,130,975	1,500,000	会計処理システム開発等
3. 予備費	0	1,442,913	
4. 事典関係経費	622,950	0	事典購入、送料 (別会計)
5. 積立金 (学会改革) *1)	0	0	
6. 次年度繰越金	2,800,813	0	
支 出 合 計	29,510,651	26,992,913	

*1) 積立金
 1990 年度 1,000,000 円 1991 年度 2,000,000 円 1992 年度 2,000,000 円
 1993 年度 1,000,000 円 1994 年度 1,000,000 円 1995 年度 6,000,000 円 1996 年度 5,000,000 円
 1997 年度 4,000,000 円 1998 年度 5,000,000 円 1999 年度 4,000,000 円 2001 年度 5,000,000 円
 2003 年度 4,000,000 円 2004 年度 2,000,000 円 累計 (利息) 42,171,347 円

3) 第3号議案 会長, 理事, 監事, 評議員の選任

正会員と名誉会員あてに、役員の半数改選の選挙を公示し、4/27に投票を締め切り、5/10に開票した。その結果、つぎのように役員候補者が確定したので、提案する。

任期は定款第24条により、会長は2年（2009年度総会まで）、理事、監事、評議員は4年（2011年度総会まで）とする。

評議員については、選挙による選出5名のほか、定款第21条にもとづき、会長指名の評議員を加えた。ただし、*印は前任者の在任期間となるため任期は2年（2009年度総会まで）。

会長 (1名)

1. 赤堀 侃司

理事 (12名) (五十音順)

1. 赤倉 貴子 2. 大久保 昇 3. 小柳 和喜雄 4. 木原 俊行 5. 黒上 晴夫 6. 向後 千春
7. 澤本 和子 8. 三宮 真智子 9. 東原 義訓 10. 堀田 龍也 11. 宮田 仁 12. 室田 真男

監事 (1名)

1. 山西 潤一

評議員 (12名) (五十音順)

1. 石塚 丈晴 2. 稲垣 忠 3. 加藤 浩* 4. 久保田 賢一* 5. 黒田 卓 6. 永岡 慶三
7. 南部 昌敏 8. 野中 陽一 9. 長谷川 元洋 10. 松居 辰則 11. 村川 雅弘
12. 米澤 宣義

[参考]

留任理事 (12名) (五十音順、2009年度総会まで)

1. 池田 満 2. 伊藤 紘二 3. 植野 真臣 4. 大谷 尚 5. 清水 康敬 6. 鈴木 克明
7. 永野 和男 8. 中山 実 9. 野嶋 栄一郎 10. 美馬 のゆり 11. 矢野 米雄
12. 山内 祐平

留任監事 (1名) (2009年度総会まで)

1. 水越 敏行

留任評議員 (8名) (五十音順、2009年度総会まで)

1. 新井 健一 2. 浦野 弘 3. 下田 昌嗣 4. 園屋 高志 5. 前迫 孝憲 6. 村瀬 康一郎
7. 横山 節雄 8. 吉崎 静夫

2007年度6月シンポジウム開催のご案内（最終報）

日 時：2007年6月16日（土）10:00-16:00
会 場：東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 ディジタル多目的ホール
（東京都目黒区大岡山2-12-1（東急目黒線・大井町線 大岡山駅下車 徒歩1分）
参 加：参加希望者は、当日受付にて直接お申し込み下さい。
(参加費として資料代500円をいただきます。開始30分前より受付を行っております。)

午前の部：10:00-12:00 シンポジウム1（主として学会員向け。ただし非会員の方の参加も可能）

テーマ 「高等教育における教育実践の成果をどのように共有し活用するか」

■ ねらい 近年、文部科学省によって、特色GP、現代GP、教員養成GPなど大学教育改革への支援が進み、特色ある教育実践成果が蓄積され、教育実践研究は高等教育へも大きな広がりをみせています。日本教育工学会では、それらの実践知を有効に活用するために、得られた個々の研究成果を体系化し、再び教育実践の現場に還元していく仕組みを検討することが必要です。そこで本シンポジウムでは、様々な分野の教育実践研究者をお迎えし、成果を共有し活用していくために、学会として果たしていく役割や方法論について議論します。

午後の部：14:00-16:00 シンポジウム2（会員及び一般参加者向け）

テーマ 「新しい教育課題に教育工学は何ができるか—現代的問題に挑む—」

■ ねらい 昨年12月に教育基本法が改正され、今年1月には教育再生会議から第一次報告が出されました。この改正や報告書の内容、方向性については、様々な意見があるかと思いますが、その背景には、現在の教育が様々な問題を抱えている現実があります。学力低下、いじめ、授業の不成立、不登校、教育格差、運動能力の低下など枚挙にいとまがありません。本シンポジウムでは、これらの現代の教育が抱える問題に正面から取り組んで実践している方をお招きし、学会が学校教育現場と連携・協力を図りつつこれらの問題にどう対処していくかについて議論します。

※午前の部の発表者・発表タイトル、午後の部の登壇者は学会ホームページに掲載しておりますのでご確認をお願いします。

日本教育工学会 2007年 夏の合宿研究会（第二報） 次世代の教室のICT環境と学力向上を考える

日 時：2007年7月28日（土）13:30～29日（日）11:30

場 所：富山大学黒田講堂会議室（JR富山駅から会場まで約20分）

参加費：2,000円 なお、宿泊場所は会場にありませんので、各自でご手配をお願いいたします。

日 程：

7月28日（土）「次世代の教室のICT環境を考える」

各国事情・国内調査の結果から日本が目指していくべき教室の次のICT環境を考える。

・基調講演：山西潤一（富山大学）

・パネルディスカッション：木原俊行（司会・大阪教育大学）・野中陽一（和歌山大学）・

黒田卓（富山大学）・毛利靖（つくば市立二の宮小学校）

7月29日（日）「ICT活用と学力向上」の普及を考える

ICT活用の学習指導には効果があると各種調査は示す。効果のある活用方法の普及を検討する。

・パネルディスカッション：南部昌敏（司会・上越教育大学）・村川雅弘（鳴門教育大学）・

中川一史（メディア教育開発センター）・豊田充崇（和歌山大学）

・小講演：堀田龍也（メディア教育開発センター）

お問い合わせ先：夏の合宿担当 高橋純（富山大学） takahashi@edu.u-toyama.ac.jp

※詳細及び参加申し込みは学会ホームページをご覧ください。

日中教育工学研究推進フォーラムの御案内

華南師範大学李教授・徐教授を中心とする中国教育工学研究グループとの「日中教育工学研究推進フォーラム」の開催を平成19年6月19日(火)・20日(水)、場所は関西大学で計画しています。

現在詳細を打合せ中です。プログラム等詳細が決定次第、学会ホームページで案内いたします。問い合わせ等は、富山大学の山西(学会国際担当:yamanisi@edu.u-toyama.ac.jp)まで。

新入会員

(2007年3月20日～2007年5月8日)

■ 正会員 34名

丸尾 聰
長濱 太造(徳島文理大学)
KO JAE KWON
(KOSUNG HI-TECH)
早川 勝夫
(日本ベーリンガーインゲルハイム(株))
柴田 喜幸
(株)日本能率協会マネジメントセンター)
加藤 千恵次(北海道大学)
雪田 和人(愛知工業大学)
後藤 時政(愛知工業大学)
山田 雅敏(浜松大学)
木下 郁男
(株)原子力安全システム研究所)
岩崎 学(成蹊大学)
大久保 亨(九州造形短期大学)
大井 浩明
若山 昇(帝京大学)
鷹野 重之(JAD Program)
奥田 裕司(福岡大学)
宮内 盛一(斜里町立峰浜小学校)
小倉 統
伊藤 敏(岐阜聖徳学園大学)

鶴野 俊哉(石川県立工業高等学校)
高田 浩充
岡本 浩行(阿南工業高等専門学校)
田村 雅人(取手市立稲小学校)
林 一雅(豊橋技術科学大学)
半田 純子(総合研究所)
竹下 浩
中村 晃(金沢工業大学)
大西 俊弘(龍谷大学)
小賀 聰(株)ラブト)
関根 雅泰
三上 光一
平野 美保
橋本 貴充(大学入試センター)
ホートン広瀬 恵美子(芝浦工業大学)

■ 学生会員 18名

川野 貴司(早稲田大学大学院)
水本 篤(関西大学大学院)
米沢 崇(広島大学大学院)
五十嵐 亮(九州大学大学院)
棚橋 美保(岐阜大学大学院)
森下 孟(信州大学大学院)
盧 虹(香川大学大学院)
木原 直子(早稲田大学大学院)

半田 真慈(広島国際大学)
矢野 陽子(宮崎大学大学院)
後関 奈々(東京理科大学大学院)
菊池 伸一(東京理科大学大学院)
佐々原 正樹(広島大学大学院)
内野 智仁(東京工業大学大学院)
大坪 説子(早稲田大学)
赤塚 美鈴(三重大学)
中川 範人(富山大学大学院)
田中 洋也(北海道大学)

■ 準会員 9名

竹中 剛志(名古屋市立味鋤小学校)
平野 裕騎(同朋高等学校)
小島 隆次
太田 弘美(北海道高等農学校)
佐々木 東(岩見沢市立北村小学校)
今野 寿昭
栗山 弘之
(株)NHKテクニカルサービス)
木村 篤信
(NTT サイバーソリューション研究所)
佐々木 久(暁星国際高等学校)

学会日誌

6月16日(土) 第23回通常総会、シンポジウム、理事・評議員会(東京工業大学)
6月19日(火)～20日(水) 日中教育工学研究推進フォーラム(関西大学)
7月 7日(土) 研究会「教育メディア」(新潟医療福祉大学)
7月28日(土)～29日(日) 夏の合宿研究会(富山大学)
9月22日(土)～24日(月) 第23回全国大会(早稲田大学)
10月20日(土) 研究会「デジタルコンテンツの教育活用と授業デザイン」(同志社女子大)
12月22日(土) 研究会「高等教育とeラーニング」(熊本大)

2008年

3月 1日(土) 研究会「日本語教育と教育工学」(名古屋大)
5月 17日(土) 研究会「テーマ未定」(岩手大)

お問い合わせ先(Eメールアドレス)

- ◆ 論文投稿に関するお問い合わせ・・・編集委員会(editor@jset.gr.jp)
- ◆ 研究会の開催についてのお問い合わせ・・・研究会事務局(jset-branch@nime.ac.jp)
- ◆ 全国大会の開催についてのお問い合わせ・・・大会企画委員会(taikai2007@jset.gr.jp)
- ◆ ニューズレター編集に関するお問い合わせ・・・広報委員会(kouhou@jset.gr.jp)
- ◆ その他の掲載記事に関するお問い合わせ・・・学会事務局(office@jset.gr.jp)

広報委員会

編集長:清水康敬、広報委員長:堀田龍也、委員:山西潤一、石塚丈晴、高橋 純
(独)メディア教育開発センター堀田研究室 E-mail: kouhou@jset.gr.jp

日本教育工学会ニュースレター No.151

2007年05月27日

発行人 赤堀 侃司

発行所 日本教育工学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル

TEL / FAX: 03-5740-9505 E-mail: office@jset.gr.jp

<http://www.jset.gr.jp/> 郵便振替 00180-2-539055